

---

# 2021年度決算について

2022年4月28日  
北海道電力株式会社

ともに輝く明日のために。  
Light up your future.



## — 目 次 —

□ 連結経営成績・財政状態	．．．	2
□ 連結決算の概要	．．．	3
□ 2022年度 連結業績予想	．．．	4
□ 2021年度 期末配当 および 2022年度 配当予想	．．．	5
□ 参考資料	．．．	6

# ■ 連結経営成績・財政状態

## 経営成績（累計）

（単位：億円）

	当年度 (A)	前年度 (B) ※	増減 (A)-(B)	対前年度 増減率%
売上高	6,634	5,852	782	13.4
営業利益	249	537	△ 288	△ 53.6
経常利益	138	411	△ 273	△ 66.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	68	361	△ 292	△ 81.0
1株当たり当期純利益	26 <sup>円</sup> 57 <sup>銭</sup>	169 <sup>円</sup> 09 <sup>銭</sup>	△ 142 <sup>円</sup> 52 <sup>銭</sup>	

※ 2021年度第1四半期から、収益認識会計基準等の適用に伴い、電気事業会計規則が改正され、再生可能エネルギー固定価格買取制度に関する影響額については、収益・費用計上の対象外となりました。

本資料に記載の2020年度実績については、上記変更を遡及適用し組み替えて表示しております。

## 財政状態

（単位：億円）

	当年度末 (A)	前年度末 (B)	増減 (A)-(B)
総資産	19,928	20,016	△ 87
純資産	2,857	2,897	△ 40
自己資本比率	13.7%	13.8%	△ 0.1%

## ■ 連結決算の概要

<p>売上高 (増収)</p>	<p>卸販売が好調であったことや 燃料価格の上昇に伴う燃料費調整額の増加などにより、 前年度に比べ782億円増加の6,634億円となりました。</p>
<p>経常利益 (減益)</p>	<p>発電設備に係る修繕費の減少や 好調な卸販売などによる増加はありましたが、 前年度の寒波の影響や燃料価格の上昇などにより、 前年度に比べ273億円減少の138億円となりました。</p>
<p>親会社株主に 帰属する 当期純利益</p>	<p>経常利益の減少に加え、 インバランス収支還元損失(※)を特別損失に計上したことなどにより、 前年度に比べ292億円減少の68億円となりました。</p>

### ※ インバランス収支還元損失

電力は常に需要と供給のバランスを保つ必要があり、小売電気事業者の発電と需要の計画に対して差異が生じた場合には、一般送配電事業者は、小売電気事業者へ電力を供給したことに伴う料金(インバランス料金)を小売電気事業者に負担いただいております。

2021年1月にインバランス料金が高騰し、料金単価が一定水準を超える事象が発生いたしました。その超えた部分につきまして、2021年12月に開催された国の審議会での取りまとめ結果などを踏まえ、小売電気事業者が今後もお客さまに安定的に電力をお届けできる事業環境を支えるため、一般送配電事業者である北海道電力ネットワーク(株)は、小売電気事業者の将来の託送料金から減額することといたしました。

この措置に伴う小売電気事業者への託送料金の減額につきましては、臨時的な措置であることから、その見込額を特別損失に計上しております。

### <2022年度 連結業績予想について>

現在、ウクライナ情勢の悪化などにより、世界のエネルギー事情が不安定となっていることから、原油などの燃料価格が大きく変動しており、燃料費調整額や燃料費を算定することが困難な状況にあります。

また、お客さまの中で、電力市場価格の上昇などを背景に、電力の契約先を見直す動きがあり、今後の動向の見極めがつくまでは、販売電力量も見積ることが難しい状況にあります。

このため、2022年度通期の連結業績につきましては、売上高・利益・販売電力量いずれも未定といたします。

今後、業績を見通すことが可能となり次第、速やかにお知らせいたします。

# ■ 2021年度 期末配当 および 2022年度 配当予想

## 2021年度 期末配当

期末配当金につきましては、安定配当の維持を基本に、2021年度の業績や財務状況および今後の経営環境などを総合的に勘案し、本日開催の取締役会において、以下のとおり2022年6月28日開催予定の第98回定時株主総会に付議することを決議いたしました。

- ・ 当社普通株式 → 1株につき金10円 (総額 2,056百万円)
- ・ 当社B種優先株式 → 1株につき金1,500,000円 (総額 705百万円)

## 2022年度 配当予想

2022年度の間・期末配当予想につきましては、安定配当の維持を基本に、中長期的な経営環境や収支状況などを総合的に勘案し、以下のとおりといたします。

### 【1株当たり配当金】

	普通株式			B種優先株式		
	中間	期末	年間	中間	期末	年間
2021年度	10円	10円	20円	1,500,000円	1,500,000円	3,000,000円
2022年度 (予想)	10円	10円	20円	1,500,000円	1,500,000円	3,000,000円

## ■ 参考資料

- ・連結収支比較表（全体）
- ・連結対象会社
- ・販売電力量（連結）
- ・供給電力量（連結）
- ・連結収支比較表（収益）
- ・連結収支比較表（費用・経常利益）
- ・連結セグメント情報
- ・連結キャッシュ・フロー計算書
- ・連結経常利益の変動要因（対前年度比較）

# 連結決算－収支比較表

(単位：億円)

		当年度 (A)	前年度 (B)	増減 (A)-(B)	対前年度 増減率%
経常収益	営業収益（売上高）	6,634	5,852	782	13.4
	電気事業営業収益	6,254	5,473	781	14.3
	その他事業営業収益	379	378	0	0.1
	営業外収益	34	16	17	100.4
合計		6,668	5,869	799	13.6
経常費用	営業費用	6,384	5,314	1,070	20.1
	電気事業営業費用	6,049	4,961	1,088	21.9
	その他事業営業費用	334	352	△ 17	△ 5.1
	営業外費用	145	143	2	1.5
合計		6,529	5,457	1,072	19.6
[営業利益]		[249]	[537]	[△ 288]	[△ 53.6]
経常利益		138	411	△ 273	△ 66.4
渴水準備金引当又は取崩し		1	△ 2	3	－
特別損失		15	－	15	－
税金等調整前当期純利益		121	414	△ 292	△ 70.6
法人税等		48	50	△ 2	△ 4.1
当期純利益		73	363	△ 290	△ 79.8
非支配株主に帰属する当期純利益		4	1	2	154.1
親会社株主に帰属する当期純利益		68	361	△ 292	△ 81.0
(参考)	包括利益	31	460	△ 429	△ 93.2



連結子会社		持分法適用会社
北海道電力ネットワーク(株)	北海道電気工事(株)	北電総合設計(株)
北電興業(株)	北海道パワーエンジニアリング(株)	(株)ほくでんアソシエ
苫東コールセンター(株)	ほくでんエコエナジー(株)	石狩LNG棧橋(株)
ほくでんサービス(株)	北海道総合通信網(株)	
ほくでん情報テクノロジー(株)	北海道電力コクリエーション(株)	

## 連結決算－販売電力量

- ・小売販売電力量は、積極的な営業活動を展開いたしました。引き続き厳しい競争環境にあることや気温の影響による暖房需要の減少などから、合計で22,165百万kWh、対前年伸び率△2.3%となりました。  
(新型コロナウイルス感染症による影響：△4億kWh程度→△3億kWh程度)
- ・他社販売電力量は、卸販売が好調であったことなどから、合計で7,705百万kWh、対前年伸び率99.1%となりました。

(単位：百万kWh)

			当年度 (A)	前年度 (B)	増減 (A)-(B)	対前年度 増減率%
小売	低圧	電灯	8,365	8,765	△ 400	△4.6
		電力	1,980	2,050	△ 70	△3.4
		計	10,345	10,815	△ 470	△4.3
	高圧・特別高圧		11,734	11,791	△ 57	△0.5
	小計(※1)		22,079	22,606	△ 527	△2.3
	その他(※2)		86	77	9	11.4
	合計		22,165	22,683	△ 518	△2.3
他社販売電力量			7,705	3,870	3,835	99.1
小売・他社販売電力量合計			29,870	26,553	3,317	12.5

※1 小計欄は、北海道電力(株)の販売電力量を示す。

※2 その他欄は、北海道電力ネットワーク(株)および北海道電力コクリエーション(株)の販売電力量を示す。

- ・ 泊発電所が全基停止していることに加え、出水率が96.2%と平年を下回りましたが、供給設備の適切な運用により、安定した供給を維持することができました。

(単位：百万kWh)

		当年度 (A)	前年度 (B)	増 減 (A)-(B)	対前年度 増減率%
発 電 電 力 量	(出水率%) 水 力	(96.2%) 3,454	(92.3%) 3,450	(3.9%) 4	
	火 力	19,554	18,007	1,547	8.6
	(設備利用率%) 原 子 力	(-) -	(-) -	(-) -	
	新エネルギー等	113	129	△ 16	△ 12.1
	計	23,121	21,586	1,535	7.1
他社受電電力量※		9,851	7,998	1,853	23.2
揚 水 用		△ 203	△ 225	22	△ 9.6
合 計		32,769	29,359	3,410	11.6

※他社受電電力量には、連結子会社の北海道パワーエンジニアリング(株)およびほくてんエコエナジー(株)からの受電電力量が含まれている。

# 連結収支比較表（収益）

（単位：億円）

	当年度 (A)	前年度 (B)	増 減 (A)-(B)	対前年度 増減率%	主 な 増 減 要 因	
売 上 高	6,634	5,852	782	13.4		
電気事業営業収益	6,254	5,473	781	14.3		
2 社 合 計 ※	電 灯 ・ 電 力 料	4,602	4,356	246	5.7	・燃料費調整額の増加 ・小売販売電力量等の減少  ・地帯間・他社販売電力料の増加 【増加要因】 ・好調な卸販売などによる増加 【減少要因】 ・前年度の寒波の影響による減少
	そ の 他	1,663	1,130	532	47.1	
	地 帯 間 ・ 他 社 販売電力料(再掲)	1,091	578	512	88.7	
	託送収益(再掲)	494	500	△ 5	△ 1.1	
子会社・連結修正	△ 11	△ 13	2	-		
その他事業営業収益	379	378	0	0.1		
営 業 外 収 益	34	16	17	100.4		
経 常 収 益	6,668	5,869	799	13.6		

※ 2 社合計は、北海道電力(株)と北海道電力ネットワーク(株)の合計（内部取引消去後）の実績を表示している。

# 連結収支比較表（費用・経常利益）

（単位：億円）

		当年度 (A)	前年度 (B)	増減 (A)-(B)	対前年度 増減率%	主な増減要因
電気事業営業費用		6,049	4,961	1,088	21.9	
2 社 合 計 ※	人件費	550	565	△ 15	△ 2.8	・退職給付費用の減少
	燃料費	1,610	887	722	81.4	【増加要因】 ・燃料価格の上昇 ・他社販売電力量の増加
	購入電力料	1,224	781	442	56.6	【減少要因】 ・前年度の寒波の影響による焚き減らし
	修繕費	615	699	△ 83	△ 12.0	・発電設備に係る修繕費の減少
	減価償却費	700	721	△ 20	△ 2.9	・前年度未償却終了の影響
	その他費用	1,386	1,327	58	4.4	・固定資産除却費の増加
子会社・連結修正		△ 37	△ 22	△ 15	-	
その他事業営業費用		334	352	△ 17	△ 5.1	
営業外費用		145	143	2	1.5	
	支払利息（再掲）	95	104	△ 8	△ 8.5	・金利の低下
経常費用		6,529	5,457	1,072	19.6	
経常利益		138	411	△ 273	△ 66.4	

※ 2社合計は、北海道電力(株)と北海道電力ネットワーク(株)の合計（内部取引消去後）の実績を表示している。

## 連結決算－セグメント情報

- ・北海道電力セグメントの売上高は、前年度に比べ592億円増加の5,979億円となり、セグメント損益は、発電設備に係る修繕費の減少や好調な卸販売などによる増加はありましたが、前年度の寒波の影響や燃料価格の上昇などにより、前年度に比べ242億円減少の120億円の経常利益となりました。
- ・北海道電力ネットワークセグメントの売上高は、前年度に比べ242億円増加の2,679億円となり、セグメント損益は、北海道エリアの需要が低位で推移する中、カイゼン活動の積極的な推進をはじめ、経営全般にわたる効率化に努めましたが、需給調整に係る費用が増加したことなどにより、44億円の経常損失となりました。
- ・その他の売上高は、前年度に比べ32億円減少の1,363億円となり、セグメント損益は、主に電気通信事業の携帯電話事業者への回線提供収入が増加したことなどにより、前年度に比べ32億円増加の79億円の経常利益となりました。

(単位：億円)

	当年度 (A)	前年度 (B)	増減 (A)-(B)
<b>売上高</b>	6,634	5,852	782
北海道電力	5,979	5,386	592
北海道電力ネットワーク	2,679	2,437	242
その他 ※1	1,363	1,396	△ 32
調整額 ※2	△ 3,388	△ 3,368	△ 19
<b>セグメント損益（経常損益）</b>	138	411	△ 273
北海道電力	120	362	△ 242
北海道電力ネットワーク	△ 44	11	△ 56
その他 ※1	79	47	32
調整額 ※2	△ 16	△ 10	△ 6

※1 「その他」は、「北海道電力」および「北海道電力ネットワーク」セグメント以外の、その他の連結子会社等の実績である。

※2 「調整額」は、連結決算におけるセグメント間取引の消去額である。

- ・営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益の減少などにより、前年度に比べ342億円減少の1,023億円の収入となりました。
- ・投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出の減少などにより、前年度に比べ78億円減少の777億円の支出となりました。
- ・財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の減少などにより、194億円の支出となりました。
- ・以上の結果、現金及び現金同等物は、前年度に比べ51億円増加の888億円となりました。

(単位：億円)

	当年度 (A)	前年度 (B)	増減 (A)-(B)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,023	1,365	△ 342
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 777	△ 856	78
差引 C F (I + II)	246	509	△ 263
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 194	△ 246	51
IV. 現金及び現金同等物の増減額 (I + II + III)	51	262	△ 211
V. 現金及び現金同等物の期末残高	888	837	51

# 2021年度実績（連結決算）－ 経常利益の変動要因（対前年度比較）

（単位：億円）

2021年度実績  
（対前年度比較）

